

総合的な学習の時間「ポプラタイム」における各学年の付けたい力

身の回りの事象から課題を見付け、自分で考え、課題を追究する生徒の育成

1年	2年	3年
学び方を学ぶ	体験の継続	主張・提言
重点	重点	重点
身近な地域に目を向け課題を見付ける。	興味・関心の高い課題について、継続的に調べる。	課題を自分の力で追究し、「これから自分はどのようにいけばいいのか」考える。

【問題解決能力】

- ・身の回りに目を向けることができる。
- ・いろいろな事象に内在す問題を発見することができる。
- ・課題を自分のものとすることができる。
- ・課題に対して目的意識をもってはたらきかけることができる。

- ・情報を伝えることができる。
- ・事実を話すことができる。

伝達

- ・継続的にねばり強く課題に取り組むことができる。
- ・取り組みのなかから新たな疑問を見付けることができる。
- ・多くの情報から分析し、結果を出すことができる。

- ・仲間と意見を交流するなかで、自分の考えを、練り直すことができる。

交流

- ・結果から考察し、課題の結論を導き出すことができる。
- ・自分の生活に目を向け、今後役に立っていかうとすることができる。

- ・再構築した自分の考えを主張することができる。
- ・「自分にできることは、どんなことだろう」

主張

【表現力】